

青森家庭少年問題研究会では、25年7月から、毎週土曜日の午前中、小学生・中学生を対象に、学習支援活動を行っています。

青森市母子寡婦福祉会の協力を得て、ひとり親家庭の子どもたち12人を対象に、ボランティアとして登録してくれた県立保健大学の学生さんが、子どもたちの学習進度に合わせて1対1で勉強を教えています。

## ■平成27年度を振り返って

平成27年度は、4月のスポーツ交流会、5月のレクリエーション、10月の保健大大学祭への招待、秋のスポーツ交流、12月の母子会クリスマス会への参加、3月の卒業を祝う会の開催など、多くの行事にも、取り組みました。

また、7月に金沢市で開催された日本社会福祉士会全国大会学会、8月には弘前大学ボランティアセンターの学習会、10月には弘前市岩木での青森県母子寡婦福祉大会で、それぞれ活動報告の機会を得ました。

開設当初からボランティアとして参加している県立保健大学の沼山さんは、卒業論文に学習会に参加する子どもの「意見表明権の保障」について取り上げ、子ども・学生双方に対する調査結果をまとめました。

今後とも、学習会活動をよりよいものに



していくために、さらなる実践と研究を続けて参ります。

## ■合格おめでとうございます(祝)

高校受験を目指してがんばってきた中3生5人は、それぞれ希望する私立高校、公立高校に、合格することができました。

平成27年度は、受験生が多かったこともあり、なかなか個別の対応を取ることが



できませんでした。受験生にも、学生さんにも、ご不便をおかけしましたが、皆さんの努力で、乗り切ることができました。親御さんとともに、喜びを分かち合いたいと思います。今後、高校生活を大いに楽しんで、無事卒業できることを願っています。

## ■平成27年度決算報告

(円)

○収入の部	281,895	○支出の部	268,148
登録料	1,500	交通費	134,010
寄付金	203,262	保険料	8,652
助成金	30,000	行事費	48,990
その他	47,133	教材費	56,444
		会議費	20,052
○差し引き	13,747	(次年度繰越)	

## ■ご寄付をいただいた方

小笠原様、齋藤様、嶋中様、白戸様、神様、田中様、千葉様、千代谷様、宮崎様、村田様ほか(順不同) ご協力ありがとうございます。